

2022年度 第3回10月京大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

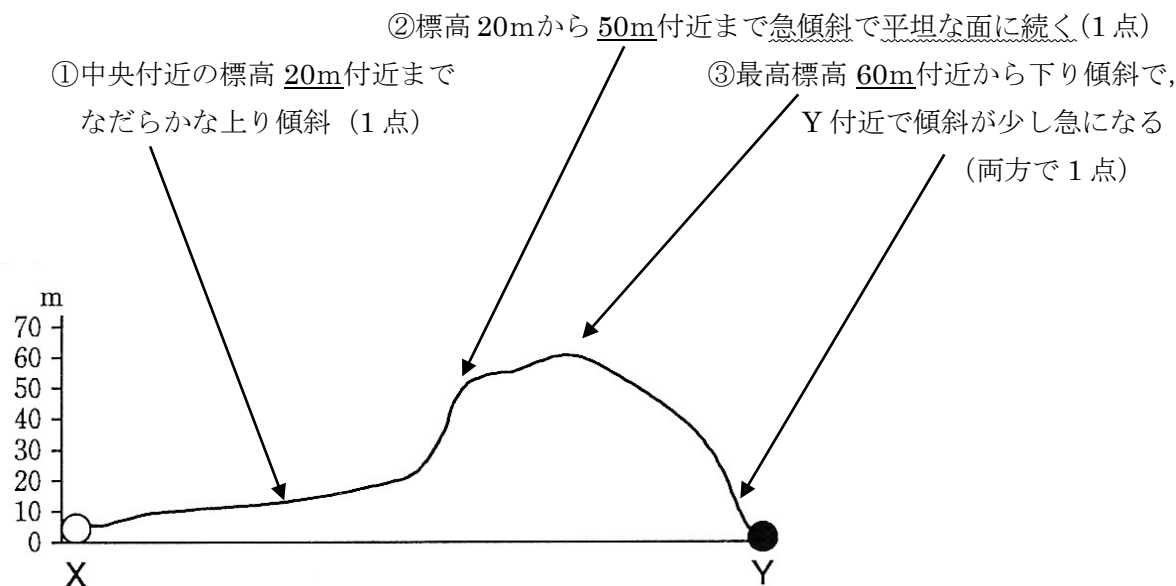
5 設問別加点基準

- 1) 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

I

問(2) 3点

【加点ポイント】



問(3)① 石灰岩／石灰石 →2点

問(3)② 3点

雨や地下水が石灰岩を溶食して凹地のドリーネを形成し、それがいくつか接続したウバーレに雨水がたまった。

【加点ポイント】

- ① 「雨／地下水／二酸化炭素を含む水」が「石灰岩を溶食」した →1点
- ② (①により) ドリーネができた／ドリーネが接続したウバーレになった →1点
- ③ (②の後に) ②に雨水がたまった／②に水がたまった →1点

問(4) 3点

冬の北西季節風により海が荒れるため、他の北・西の港に比べ接岸が容易な南岸の亀池港が用いられるから。

【加点ポイント】

- ① 冬は北西季節風の影響を受ける →2点
(※「季節風の影響」のみ →1点)
- ② 南岸の亀池港は北・西の港に比べ接岸が容易
／北・西の港は①の影響を強く受ける／南の亀池港は①の影響が弱い →1点

問(5)③ 3点

点在するヤシ科樹林の記号から、この島が温暖な気候下にあることがわかるため。

【加点ポイント】

★問(6)①で「サトウキビ」を正解していることが加点の前提

- ① 温暖な気候である／気温が高い／サトウキビは温暖な気候で栽培される →1点
- ② (①の根拠) ヤシ科樹林の記号がある →2点
→ (※「ヤシ科植物／ヤシの木」など正式記号名でない場合 →1点)

II

問(1)② 4点

XがYの下に沈み込む境界面で地震が起きて津波を生じ、深部に達したX由来のマグマが火山活動を起こす。

【加点ポイント】

- ① (災害) 地震 →1点
- ② (災害) 津波／火山災害 →1点
- ③ (地殻活動) XがYの下に沈み込む／XがYの下に潜り込む →2点

問(2)② 2点

北上する亜熱帯高圧帯の支配下に入るため。

【加点ポイント】

- ① 亜熱帯高圧帯／中緯度高圧帯 の影響を受ける →2点

問(3)③ 4点

灌漑水路の整備が進んで、乾季でも稲作が可能となり、米の二期作が広まったから。

【加点ポイント】

- ① (米の) 二期作が広まった／二期作が始まった →2点
(※「乾季にも稲作が可能になった」のみ →1点)
- ② (①の背景) 灌漑水路が整備された／ポンプ灌漑(灌漑用ポンプ)が普及した →2点

Ⅲ

問(2) 2点

土壌の保水力が失われ、養分を含む薄い表土が大量の雨で流出するため。

【加点ポイント】

- ① (熱帯の土壌は) 養分を含む表土が薄い／もともと腐植層が薄い →1点
- ② (伐採後は) 大量の雨で表土が流出する／雨で腐植層が流される →1点

問(5)① マングローブ林／マングローブ →2点

問(6) 5点

人口増加による食料増産のため、休閑期間を短縮する過耕作、家畜頭数を増やす過放牧、薪炭材の採取を増やす過伐採を行ったから。

【加点ポイント】

- ① (人為的要因) ・過耕作／休閑(休耕)期間の短縮 →1点
 - ・過放牧／家畜頭数の増加 →1点
 - ・過伐採／薪炭材の採取増加 →1点
- ② (①の背景) 人口増加／人口爆発／食料(食糧)増産のため／食料需要の増加 →2点

問(7) 5点

沖合を寒流のペルー海流とベンゲラ海流が流れ、下層の空気が冷やされて上昇気流が生じず少雨となるため。

【加点ポイント】

- ① (海流種) 寒流 →1点
- ② (海流名) ・ペルー海流 →1点
 - ・ベンゲラ海流 →1点
- ③ (①により) 下層の空気が冷やされる／大気の逆転が生じる →1点
- ④ (③により) 上昇気流が生じない／大気が安定する →1点

Ⅳ

問(3) 4点

工業化したアジア諸国等の台頭により重工業が国際競争力を失い、知識集約型工業が同国南部で発達したため。

【加点ポイント】

- ① (鉄鋼業や自動車工業が) 国際競争力を失った／価格が高く売れなくなった →1点
- ② (①の背景) アジア諸国(日本など)の工業化の進展
 - ／NIEs(新興工業経済地域)などの発展 →2点
 - (※「設備の老朽化／技術革新の遅れ／賃金水準が高い」のみ →1点)
- ③ 知識集約型工業が同国南部で発達した／サンベルトで情報技術産業が発展した →1点

問(5) 3点

遠浅の鹿島灘に臨む海岸平野で、大型船舶の入港のために砂浜を掘り込んで港湾とした。

【加点ポイント】

- ① (工法) 掘り込み式／掘り込み港 →2点
- ② (①の理由) 海が遠浅である／浅海である／砂浜海岸である／海岸平野である →1点

Ⅴ

問(3) 4点

農業の機械化で余剰労働力となった人々が、都市の収容能力を超えて農村から流入した。

【加点ポイント】(※問(1)の可否は問わない)

- ① (農業の変化) 機械化が進んだ →1点
- ② (農村の変化) 余剰労働力が生まれた →1点
- ③ (②により) 農村から大都市に人口が流入した →1点
- ④ (③は) 都市の収容能力を超えている／都市の住宅供給が追い付かない
／都市に十分な労働機会がない／都市で失業者が増加する →1点

問(4) 3点

企業や組織の中核管理機能が集積し、高層ビルが林立する。

【加点ポイント】

- ① (C.D.B.は) 中核管理機能が集積／大企業の本社や行政機関の本庁などが集中 →2点
- ② (景観) 高層ビルが林立する／建物の高層化が進む →1点

問(5) 4点

開発時、一斉入居した同世代の住民の子供向けに増設した学校が、のちに過剰となった。

【加点ポイント】

- ① (ニュータウンの開発時に) 子供を持つ世代が一斉に入居した
／若い夫婦とその子供が短い期間に入居した →2点
- ② (①により) 学校が多く増設された →1点
- ③ (統廃合の背景) ①の子供が学齢を過ぎた／子供が卒業し過剰となった
／ニュータウン内の高齢化が進み若い世代の入居が少ない
／子供は大人になって転出しその後子供が増えない →1点